

農業・地域貢献への取り組み①



農業・地域に対する当会の考え方

当会は、神奈川県内JA等が会員となって、お互いに助け合い、発展していくことを共通の理念とする相互扶助型の農業専門金融機関であり、また、JAの組合員・利用者の繁栄と地域社会の発展に資するための地域金融機関です。特に、農業と地域社会への一層の機能強化に向け、現在、JAグループを挙げて自己改革に取り組んでいます。

その資金は、大半が県内のJAにお預けいただいた組合員・利用者の皆さまの大切な財産である貯金を源泉としています。また、皆さまからお預かりした大切な貯金は、資金を必要とする組合員・利用者の皆さまや、JA・農業に関連する企業・団体および県内の地場企業や地方公共団体などにご利用いただいています。

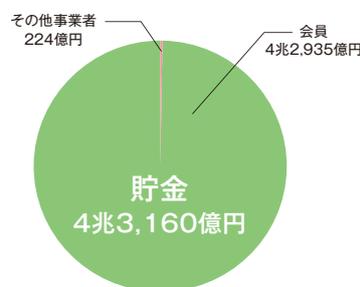
当会は組合員・利用者の皆さまの豊かな生活のお手伝いができるよう、JAとの強い絆とネットワークを構築するとともに、農業振興と地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めています。

また、資金供給や経営支援などの金融機能の提供にとどまらず、環境・文化・教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。

地域からの資金調達の状況

当会の平成28年9月末の貯金残高は4兆3,160億円となっており、うち4兆2,935億円は神奈川県内JA等の会員からお預りしています。

また、JAバンク神奈川(当会ならびに県内13JAの信用事業部門の総称)では組合員および利用者の皆さまの計画的な資産づくりをお手伝いさせていただくため、目的に応じた各種貯金や国債、投資信託等の取り扱いをしています。



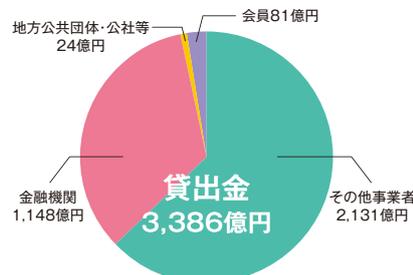
JAトク農定期貯金・JA介護貯金(一部未取り扱いのJAあり)

JAバンク神奈川では、農業を営む方に対して有利なJAトク農定期貯金の取り扱いをしています。また、高齢者等福祉活動の一環として、要介護者を抱えるご家庭を支援するJA介護貯金の取り扱いをしています。

農業・地域への資金供給の状況

当会の平成28年9月末の貸出金残高は3,386億円となりました。このうち、農業関連資金としては、横浜市農業経営資金、かながわ都市農業推進資金等の取り扱いをしています。

また、JA組合員の資産活用には賃貸住宅向け資金等の取り扱いをするとともに、地方公共団体や地元企業等のお取引先の皆さまには、各種用途に応じた資金の取り扱いをしています。



農業・地域貢献への取り組み②



JAバンクアグリサポート事業

JAバンクでは、日本の農業等に対してこれまで以上に踏み込んだ支援策を展開するとともに、自らの社会的使命に応えるため、JAバンクアグリ・エコサポート基金を設立し「JAバンクアグリサポート事業」を展開しています。

農業・地域密着型金融への取り組み(中小企業等の経営改善および地域の活性化のための取り組みを含む)

● 農業者等の経営支援に関する取組方針

当会では、「健全な事業を営む農業者をはじめとする地域の皆さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと」を役割とし、適正な業務の遂行に向け「金融円滑化にかかる基本方針」(当会HP [中小企業者等金融円滑化への取組] 参照)に基づき実践しています。

【平成28年9月末時点の金融円滑化実績】

(単位:件、百万円)

| | 実行件数 | 金額 |
|---------|------|-------|
| 中小企業者 | 70 | 8,878 |
| 住宅資金借入者 | 26 | 413 |

● 県内農業振興への取り組み

当会ではJAグループの自己改革への取り組みとして、平成28年4月より農業部を新設し、以下の活動を通じて、従来以上に県内農業の振興への取り組みを強化しています。

- ①中央会および県域連合会で設置した「営農サポートセンター協議会」に参画し、県下JAとの話し合いを実施するとともに、JAの営農・経済改革を支援・補完し、併せて県域的な営農・経済機能の強化支援や、大規模な農業法人等の担い手経営体を対象とした訪問活動を行っています。また、農業担い手に対する支援として「農業所得増大・地域活性化応援プログラム」を展開しています。
- ②農業貸出については、大規模農業法人を中心とした農業貸出に取り組むだけでなく、JAとの協調融資にも積極的に対応し、県内農業者の資金ニーズに応えています。また、日本政策金融公庫とも連携し、農業者への資金供給に努めています。
- ③県内農業者の声を事業に生かすため、農業法人に対してCS調査を実施しJAグループ神奈川として、農業者の期待に応える体制を整備しています。今後は個人農業者向けのCS調査の実施についても検討を進めます。

● 農業者等の経営支援に関する態勢整備の状況

当会では、農業事業者や中小事業者のお客さまに対する経営相談、経営改善支援等を適切に行うため、以下の態勢を整備しています。

- ①金融円滑化対応部署を中心に、お借入条件の変更等を行ったお客さまの経営状況や、経営改善計画の進捗状況を継続的に把握し、必要に応じて経営改善または再生のための助言を行う等、お客さまへの支援について真摯に取り組めます。
- ②経営相談、経営改善・再生のための支援能力向上のため、当会職員およびJAグループ職員に対し、必要な研修・指導を行っています。
- ③農業者の経営支援については、外部機関(日本政策金融公庫等)との連携を行っているほか、農業者の資金ニーズに応えるべくJAグループ神奈川一体となった資金供給を行っています。
- ④経営者保証に関するガイドラインに対しては、内部規程等を定めガイドラインに則した対応を行っています。

農業・地域貢献への取り組み③



農業担い手に対する支援

JAバンク神奈川では、多様な農業の担い手への支援策のひとつとして、以下の「農業所得増大・地域活性化応援プログラム」を展開しています。今後も新たな施策の企画・検討に取り組みます。

① JAバンク神奈川利子補給事業

県内農業者・農業経営体に対して農業資金の利息負担の軽減策を図ることで、その経営をバックアップしています。

② JAバンク神奈川保証料助成事業

農業資金にかかる県内農業者の保証料負担を軽減することにより、その経営をバックアップしています。

③ JAバンク神奈川新規就農応援事業

将来の県内農業における中核的な担い手および多様な担い手を育成・支援することで、地域農業基盤の振興・発展と地域活性化を支援しています。

農業理解への取り組み

JAバンク神奈川では、次世代を担う子供たちに食農・環境保全の大切さを伝えるため、県下小学校900校の5年生約8万人に対し、教材本「農業とわたしたちの暮らし」を配布いたしました。

また、JAへの費用助成を通じて、子供たちの食農教育へのサポートも行っています。あわせて、神奈川新聞社の環境月刊特集に協賛し、JAバンク神奈川の食農教育の取り組みを紹介するなど、消費者の農業への理解と関心を高めるための情報発信に取り組んでいます。

農業融資に対する取り組み

JAバンク神奈川では、組合員をはじめとする農業者に対し、農業専門金融機関として、きめ細やかな金融ニーズに応えることを目的に、JA農機ハウスローンをはじめ各種農業資金による、農業者への金融支援に取り組んでいます。

また、平成27年冬の異常気象(暖冬)による被害を受けた農業者を金融面から支援するため、JA・当会・神奈川県農業信用基金協会が連携して、無利息・無担保(原則)・保証料無料の資金を合計207件、395百万円貸出対応を行い、農業者の営農を支援しました。(平成28年6月末をもって取り扱いを終了)。

また、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金も取り扱っており、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

【参考】JAバンク神奈川の農業資金残高(平成28年9月末時点)

(単位:件、百万円)

| 区分 | 件数 | 金額 |
|----------|-------|--------|
| プロパー資金 | 1,930 | 10,885 |
| 農業近代化資金 | 109 | 438 |
| その他制度資金等 | 133 | 440 |
| 合計 | 2,172 | 11,763 |

(受託貸付金)

| 区分 | 件数 | 金額 |
|--------------------|-----|-------|
| 日本政策金融公庫資金(農林水産事業) | 236 | 2,070 |
| その他 | 9 | 45 |
| 合計 | 245 | 2,115 |

農業・地域貢献への取り組み④



文化的・社会的貢献

各種相談会・セミナーの開催

JAバンク神奈川では、組合員および利用者の皆さまの計画的な資産づくり等をお手伝いさせていただくため、各種相談会・セミナーを開催しています。

| 相談会・セミナー名 | 平成28年度上期実績 | | |
|---------------|------------|-------|--------|
| | 実施JA数* | 開催会場 | 来場者数 |
| 住宅ローン相談会 | 12JA | 307会場 | 774組 |
| 年金相談会 | 12JA | 356会場 | 1,913名 |
| 年金・社会保険セミナー | 2JA | 9会場 | 132名 |
| 相続・遺言セミナー | 9JA | 46会場 | 873名 |
| 資産税セミナー | 1JA | 3会場 | 54名 |
| エンディングノートセミナー | 2JA | 8会場 | 124名 |

※実施JA数は平成28年9月末を基準に記載しています。

利用者ネットワーク化への取り組み

JAバンク神奈川では、年金友の会等、組合員および利用者の皆さまの親睦や健康増進に向けた活動を行っています。

情報提供活動

JAバンク神奈川では、ホームページや情報誌「JAマネープランナー」等を通じて、最新の金融情報を提供しています。また、JAグループ神奈川が企画・提供するテレビ番組「かながわ旬菜ナビ」やラジオ番組「JA Fresh Market」および各JA独自の機関紙等によって、農業への理解浸透や地域に関する情報等を提供しています。

環境問題への取り組み

JAバンク神奈川では、エネルギー問題に関する取組策の一環として、JA住宅・リフォーム・農機ハウスローンにかかる「環境配慮型住宅助成金交付制度」を平成26年4月より展開しています。

平成27年4月から助成対象を拡充し、太陽光発電システムのほか、長期優良住宅・認定炭素住宅・HEMS（ヘムス）・エネファーム・神奈川県産木材などの環境配慮型住宅・設備の新規取得・設置にあたり、最大25万円の助成金を交付し、環境に優しい家づくりを応援しています。

《地域農業の理解と農産物消費拡大に向けた取り組み》

地域農業の理解と県内農産物消費拡大を図るため、JA住宅ローン利用者にJAの直売所で利用可能な商品券をプレゼントするキャンペーンを実施しています。